



滋賀バルブだより

滋賀バルブ協同組合

〒522-0037 彦根市岡町52
TEL 0749-22-4873 FAX 0749-22-0463

させていただきます。

日本バルブ工業会 副会長
彦根支部長 村井 米男
(株)オーケーエム取締役会長

新年明けましておめでとございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。日本バルブ工業会彦根支部は滋賀バルブ協同組合様との共催による活動を基本にしており、組合員各位のご協力、ご支援を賜り、誠にありがとうございます。

昨年は衆議院選挙で自民党が大敗、アメリカ大統領選挙でトランプ氏が返り咲きをし、これからの政治に大きな変化が来ると思われます。さらに中国経済の停滞などにより不確実性が増しました。選挙で民意を得たのは、経済の回復を望んでいることでもあります。

しかし、世界各地の異常気象、災害をみても、地球温暖化対策の国際協力を更に推進する時であり、環境と経済の両立を望むものであります。今年4月に大阪・関西万博が開催され、日本が大きく輝くことを皆で大いに楽しみましょう。9月には滋賀県に国スポ、障スポがやってきます。彦根をメイン会場に彦根バルブも協力し、全国PRになればと思います。

さて、昨年は日本バルブ工業会創立70周年となり、ビデオ記録で彦根バルブを大いにPRすることができました。皆様のご協力まことにありがとうございました。女性や若手社員も多く参加いただきました。将来に大いに希望を感じるところで、今後も女性活躍の場を積極的に作り、明るい職場が出来るように努力しましょう。また、日本バルブ工業会では、新しい

中期活動計画V80STAGEI(2024~2026)~From Now 70th「会員の期待以上に満足度の高い工業会を目指しての活動を始めました。【サステナブルなバルブ業界へ】次世代人材育成と働きやすい職場へ【情報・事業の活性化による認知度・満足度向上】業界ネットワーク、産官連携強化による地位向上」の4つの重点課題からの活動を始めております。支部としても彦根バルブ産業の地位向上にも努力する所存です。脱炭素取り組みや化学物質規制、環境負荷低減、環境教育、女性活躍、人材確保、適正取引の推進、業界活性化など多くの課題を解決するべく地道な活動を進めたいと考えています。滋賀バルブ協同組合様との更なる情報交換や連携活動を推し進めたくご支援賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

今年がよい年であり、皆様のご多幸ご繁栄を祈念し挨拶とさせていただきます。

新春メッセーじ

沢村バルブ(株)
代表取締役社長 沢村 直幸

タイバンコク視察旅行に参加して”サワリカップ“
(タイ語のこんにちは) コロナのお陰で何年振りかお久しぶりが今回組合の視察旅行に参加しました。メンバーも私よりも年下の方が大半で「光陰矢の如し」代替わりした感じっぱいでした。日バルさんの関係で福

井製作所さんからお二人参加されたのも新しい情報交換の場としてとても有意義なものでした。

サプライチェーンの中国からのデカップリングが叫ばれ東南アジアにシフトする企業が増える中、タイの現地工場を見せて頂くという趣旨はとても勉強になります。

最初に訪問したKITZさんのタイ工場は黄銅青銅弁の量産工場ですが、輸出先は日本が大半で、あと東南アジアが少し、欧米向けがほとんどないという聞き、私は「欧米では黄銅青銅弁は使わないのか」と不思議に思い質問しました。答えは欧米には現地の強力なバルブメーカーがあるのでシェアが獲れないということでした。興味深いのは、その欧米のメーカーは中国で現地生産を行っているということ。量産工場では自動化が進み特に鋳造や鍛造作業の労働環境も改善されて人口数の占める割合はかなり低く抑えられているはずですが、それでも欧米メーカーは欧米では作らず中国で作っているということ。自動化されているとは言えプラント内には人手に頼らざるを得ない、すきま工程“があり終日同一単純作業をするということもあるはず。少子高齢化の先進国ではもうこんな仕事に人は来ないでしょう！

が、こちらのタイ生産の目的は現地の自動車メーカーに部品供給するという「地の利」だと言うことです。一台の鍛造プレス機械の価格は億単位の高額で、製造原価に材料代+機械償却代という世界らしいです。いかに段取り替えを少なくして、ひとつの型でいくつ作るかがコストダウンのポイントらしい。もちろん需要と供給の関係がありますから、不景気の時に在庫をもっておける資金力も重要です。

「日本の給料はそんなに安いのか」ということについて「タイの給料は日本より高くなった」と一時期マスコミが自虐的に騒いだことがありました。私は不思議に思いタイで商売をする友人に尋ねたこともありましたが、その友人もその通りだと言っていました。しかし今回現地で実際の工場労働者の賃金をお聞きし、また自分で街のマッサージ店に入ってみると「そんなことはない」と実感しました。マッサージ1時間は日本円で2,000円くらい(今は円安だからこの数字は高めに出てくるはず)日本で1時間マッサージしてもらったら相場は6,000円くらいだと思います。タイの給料が高いというのはホワイトカラーしかも外資系の会社に勤める富裕層のことを言っているのではないのでしょうか。

翌日のゴルフではゴルフ場の景色が日本と全くちがうのにびっくりしました。まるでテレビでマスターズの中継を見ている時の「あの景色」キャディさんは一人に一人ついてくれてカートも一人に一台、ここでもキャディさんのチップは1日300バーツで1,500円くらい。ねっ「そんなことはない」でしょ。ゴルフ代はたぶん高いんだろうと思います。こちらは自分で払ってないのでわかりません。びっくりしたのはフェアウェイのボー



滋賀バルブだより

滋賀バルブ協同組合

〒522-0037 彦根市岡町52
TEL 0749-22-4873 FAX 0749-22-0463

ルのすぐそばまでカートで入って行けることです。日本ではあり得ません。

最後に空港でゴディバのチョコレート買ったら7,500円?!!首を捻りながら買いました。こちらは高い!

”コップンカップ“

(ありがとうございます)

(株)清水合金製作所

代表取締役社長 小田 仁志

新年あけましておめでとうございませす。旧年中は格別のご支援ご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、弊社は今年4月にこれまで水道界の皆様にご愛顧いただいた「清水合金製作所」から「キッツエスジーエス」に社名を変更します。会社マークはこれまでの「S.G.S」を残しますので製品の casting 表示はこれまで通りです。長年慣れ親しんだ社名を変更することに不安もありますが、変化する時代に合せて会社も変わっていく必要があります。水道バルブ中心のメーカーから「水で社会に貢献する」をスローガンに、飲料水を生み出す浄水装置から水を循環して利用できるトータル・ウォーター・ソリューションを提供できる会社に成長させて参ります。どうかこれまで以上のご支援とご愛顧を賜りたく心よりお願い申し上げます。

今年の干支は乙巳(きのとみ)。再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく年と言われています。世界の安定を祈りつつ水で社会に貢献するという自らの使命を全うして参ります。

本年も何卒よろしくお願致します。



(株)清水鐵工所

代表取締役 清水 智弘

明けましておめでとうございませす。

本年もどうぞ宜しくお願申し上げます。2025年も新たな気持ちで迎えることが出来たことに、心より感謝申し上げます。

昨年は、水道事業の管轄が厚生労働省から国土交通省へ移管されるという大きな変化があり、我々水道業界にとって新たな課題と可能性が広がった一年となりました。これにより、社会インフラ全体との連携が求められる場面が増えると同時に、制度や運用の変化への迅速な対応が重要となつております。加えて、老朽化した施設や配管の更新需要の増大、地域間格差による収益基盤の課題、気候変動による水資源の安定供給への不安など、業界を取り巻く環境は引き続き厳しい状況にあります。

こうした背景を踏まえ、2025年は、業界全体での協力を強化しながら、これらの課題に向き合う一年としたいと考えております。弊社においても、基盤となる品質の追求を怠ることなく、社会の変化に即した新たな製品やサービスの提供に努めてまいります。また、国内インフラを支える一員として、信頼性の向上や効率化を図ることで、地域社会の安全・安心に貢献できるよう、日々の業務に取り組んでまいります。

さらに、従業員一人ひとりが自らの成長を実感できる環境を整備し、多様な働き方を尊重する企業文化を醸成することで、組織全体の力を高めてまいります。このような取り組みを通じ、「最大の企業たるよりも最良の企業たれ」の社是のもと、バルブ製造に邁進してまいります。最後に皆様の益々のご発展とご活躍を

こちらよりお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

清水工業(株)

代表取締役 清水 康裕

新年あけましておめでとうございませす。

近年は、円安による物価高や労働者不足、賃金の上昇など、経営環境は目まぐるしく変化しており、それらへの対応をしながら、現在、そして、未来の水道事業へ貢献できる製品づくりをしていく必要があります。決して簡単なことではありませんが、従業員が一体になつて一つ一つ課題を解決し、新しい事にチャレンジを続け、それらを製品として形にしていくことが何より重要かなと思ひます。

物事の本質を見極めること、自身の信念を持つことで、まわりに流されず信じる道を進むことで「清水工業らしさ」が生まれ、我々の存在価値が出てくるのだと思ひます。そして、どうやって作っていくのかの道筋を内外に示すことが、経営者の仕事なのだと思います。まだまだ未熟ではありますが、従業員と仕事をするこの喜びや楽しさを感じながら、今年も共に邁進していきたいと思ひます。

本年も何卒よろしくお願いたします。

(株)昭和バルブ製作所

代表取締役社長 中川 陽介

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

「昨年の世界情勢を振り返りますと、依然として不確実性の高い環境が続きました。主要国の経済政策が転換点を迎え、インフレや金利の影響がグローバル経済に波及する中、サプライチェーン

の再編やデジタル技術の進化が進展しました。一方で、地政学的リスクやエネルギー問題も引き続き注目されております。……」巷で流行りのChatGPTに2つ3つのコマンドを入力すると、瞬時にこんな冒頭で始まる素敵な文章を作ってくれました。このままコピペして提出してしまえ!という悪魔の囁きに危うく支配されそうになりましたが、そんな邪念を振り払いながら、下手なりに、自分の言葉であらためまして年始のご挨拶を申し上げます。

私事ながら、昨年は節目の50歳を迎えた年でした。50にして天命を知る「のかな?」と期待していたのですが、天命云々どころか、目前に山積する課題難題に追われながら、まだまだ「惑い」続ける日々でした。そんな一年もあつという間に過ぎ去りました。振り返ってみるとふと、実は、それほど様々で、過去に経験したことのないような世相変化があつた年に、たまたま自分が50歳を迎えただけなのかも?と精神的な未熟さを一旦棚上げして、樂觀的に新年を気持ち良く迎えております(はずです)。年を跨いでも引き続き、物価、金利、為替、賃金、雇用、地政学的リスク等々、外部環境の様々な変化に向き合っていくことになると思ひます。正に、それら一つ一つに「人事を尽くす」のみではあります。共通の課題には、当組合の皆様のお知恵・お力も拝借しながら、新たな成長の基盤を築き、未来に向けた発展のための準備を進めるために、乗り越えて参りたい所存です。

本年が皆様にとって実り多き一年となりますよう祈念いたします。

令和7年もどうぞよろしくお願申し上げます。



滋賀バルブだより

滋賀バルブ協同組合

〒522-0037 彦根市岡町52
TEL 0749-22-4873 FAX 0749-22-0463

松尾バルブ工業(株)
代表取締役社長 松尾 直樹

新年あけましておめでとうございます。昨年末に30年ぶりに中学校の同級生と食事に行った席で、「尊敬できる先輩ってどんな人やった」という話題が起りました。その中で僕は高校時代にサッカー部で活動していた時のことを思い出していました。

当時、サッカー部が強くなかったということと部員数も決して多くはないということもあって2年生の時から試合に出して頂くことも多かったです。しかし、試合に出してもらえなかったことが当り前になってくると油断をしまして、心の中で「少し練習を休んだから」と言っておごりが生まれませんでした。その部分を監督に見透かされて試合前日にメンバーから外されユニフォームをもらえなかったことがあります。

反対に試合に出たくても出られないK先輩がおられました。K先輩は心臓の手術を経験されており常に練習には参加されていました。長距離を走り続けたり激しいスプリントを繰り返さなくてはいけなかったりする試合には出られていませんでした。

K先輩はチームで一番サッカーの上手いY先輩と一緒に練習されることが多い。また、日ごろから決して手を抜かずに努力されていたので技術的にも知識的にも非常に高いレベルのプレーをされていた。

K先輩は後輩にも非常に丁寧に接してくれて、また裏方としてチームのサポートやベンチからの応援など徹底してチームを支えておられました。更には病気のことで家族に金銭的な負担をか

けられない事情もあったのだと思いますが、傷んだスパイクなどもテーピングで補修されて長く使われていました。

サッカーの試合に出たくても出られない事情を抱える中で、好きなサッカーやチームのために汗を流して向き合っている背中を日頃から見せて頂いていました。ある時K先輩が短い時間だけですが試合に出場されており、限られた時間の中でスライディングシュートによってゴールを決めた姿には本当にかつこよく、そして僕自身も心底うれしかったことを今でも鮮明に覚えています。

出られるか出られないか分からない試合のために日頃から準備を怠らず決して試合に出られなくてもチームの勝利のために自らができることをするという姿勢、そしてサッカーができる場所や仲間がいるという感謝の姿勢を目の当たりにして鳥肌が立った記憶があります。

最近では子ども数が激減していることと、クラブチームなどに所属する学生も増え小学校のスポーツや中学校・高校の部活動でメンバーが足りない状況や、メンバー全員がベンチ入りするチームも珍しくありません。必然的に試合に出られることが当たり前の中で、スタメンから外されたメンバーや交代したメンバーが少しふてくされたり、うなだれたりして試合から目をそらし応援をないがしろにしている場面も時々見かけます。

しかし、K先輩のように決して病気だからと言って、試合に出してもらえないからと言ってふてくされずに自分自身ができることに一所懸命に取り組み、その結果未来が大きく変わっていくということに気づいてもらえる若い世代

を増やしていければスポーツのみならず良い社会や地域が形成されていくのではないかと思います。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

青年部 部長 松林 克蔵
(株)マツバヤシ 代表取締役社長

新年あけましておめでとうございます。昨年は新年より、石川県能登では大きな地震があり苦難から始まる年になりました。そして、5月で新型コロナ収束から1年、世界経済はパンデミック後の落ち着きどころを探している印象があり、この数年でビジネスの仕方も大きく様変わりしました。日本でも少子化が進む中、今後の製造業はDXをいかに進めていけるかが課題となりそうな予感がしています。一方で、スポーツ界では大谷選手が「50・50」を達成するなど厳しい暮らしの中でも大きな希望を与えてくれた1年でもありました。さて、製造業界といたしましては、この1年を振り返りますと為替が大きく円安に振れたことや自動車業界もEV普及を目指したこともあり、材料費が大きく高騰し銅合金の铸件は縮小傾向にありました。

また、材料確保のために、資金繰りに追われた苦しい年にもなりました。この1月から大統領に就任されるトランプ氏。トランプ氏の発言は影響力が大きく、世界で問題になっている、ウクライナとロシアの戦争をどのような形に持って行くのか、そして、再生エネルギー路線では無いため、銅相場においては、少し落ち着くのではないかと予想されていますが、アメリカをどのような経済の方向に持って行くのか我が々の生活にも大

きな影響を与えていると思っております。そのような難しい1年になりそうなかで、今年も我々の製品を必要とされる方々に安定供給出来るように知恵を出し合い粘り強く邁進していかなければと思っております。

また、今年の干支はへび年ということもあり、当社といたしましては、長年培った経験を元に新しい挑戦や変化を前向きにとらえ、しっかりと脱皮できるようなヘビィ級の良い年にしていきたいと思っております。

バルブ組合青年部としましては、昨年より部長を宮嶋社長様より引継がせてもらいました。皆様の協力を得て、半期を無事に終えることが出来ました。今年度におきまして、引き続きお力添えを頂戴して成長して行けたら有難いと思っております。本年もどうぞよろしく申し上げます。

(株)ミヤジマ
代表取締役社長 宮嶋 俊介

「正々堂々と戦う」

最近では「自分のことしか考えない」そんな風潮にあると感じています。ロシアのウクライナ侵攻などあつてはならないことだと思えます。私は政治のことはよくわかりませんが、トランプさんが掲げる自国第一主義も良いように思えます。確かに家族に例えれば、まずは家族を守る第一であり、言っていることはその通りだと思えます。でも「自国さえよければそれでよし」という考えは間違っていると思えます。結局はそれでは必ず軋轢が残ります。しつぱ返しをくらいいつか必ず崩壊すると思えます。いつの間にか、こんなにもおかしな世の



滋賀バルブだより

滋賀バルブ協同組合

〒522-0037 彦根市岡町52
TEL 0749-22-4873 FAX 0749-22-0463

中になってしまったのか？昨年11月に行われたサッカーワールドカップ最終予選「日本vs中国」において、試合後の森保監督のコメントが印象的でした。日本は3-1と順当に勝利を収めたように見えたが、超アウェーの一戦では多くの妨害とも戦っていました。国歌斉唱ではブーイングが沸き起り、前半途中にはGK鈴木雅也選手にレーザーポインターで妨害をされたりしました。

森保監督はこれらの行為に言及。「サポーターの皆さんも熱く戦うという姿は尊重しますが、選手たちはルールのもと、フェアに戦っていますので、お互いへの尊重という意味でも、国歌斉唱のときは、ブーイングはやめていただけたらと思います。」と互いのリスペクトを強調しました。

私はたまに母校アメフト部の応援に行きますが、母校はもちろん、相手チームの校歌斉唱のときにも起立して直立不動で校歌を聞きます。それがマナーであり、敵チームへの敬意の表し方だと思っているからです。

日本人は古来から、勝ち負けよりも生き方を大事にしてきたと言われています。お互いに名前を名乗り合って相手を尊敬した上での真剣勝負、相手を見下したり卑怯な戦いで勝ったとしてもその価値を下げるだけだから、たとえ自分が有利な立場でも出来るだけ公平な戦いを求める。卑怯な手段を使っただけの方が立派だと思える感覚は、日本人だけなのかもしれません。潔さも品格の一つ。

今年も多くの壁が立ちはだかると思いますが、正々堂々と戦ってまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

します。

(株)水研

代表取締役社長 佐藤 康成

新年あけましておめでとうございませう。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は4月より、水道整備・管理行政が厚生労働省から国土交通省および環境省へ移管され、日本の近代水行政における歴史的な転換点を迎えました。上下水道行政の一元化により経営の合理化、危機管理体制の強化、利用者の利便性向上などの効果が期待されています。

一方で、人口減少による経営環境の悪化、水道施設の老朽化や耐震化の対応、職員不足や技術継承の問題、さらには災害発生時における迅速な対応など、近年の水道事業における問題解決も求められています。これらの問題は都市と地方との地域間格差も影響しており、その解決は一筋縄ではいきません。

令和7年を迎えるにあたり、弊社としては事業活動を通じて、これらの課題解決の一助となれるよう、心新たに日々研鑽してまいります。

今年の干支である乙巳(きのとみ)は、植物を表す乙(きのと)と、不老不死のシンボルとされる巳(みへび)が組み合わさり、「復活・再生・変化をしながら発展していく」年とされています。私自身、昨年50歳を迎えましたが、社会環境の変化に順応しつつ、未来を恐れず、足元の今できることを着実に積み重ねていきたいと考えております。

最後に、滋賀バルブ協同組合各社様の益々のご発展とご健勝をお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

(株)高砂商店

代表取締役 高岡 佑輔

令和7年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

組合の皆様には日頃よりお世話になり、厚く御礼申し上げます。

弊社は塗料販売会社であり、大阪に本社を、近江八幡に滋賀営業所として営業拠点及び倉庫を構えて、塗料や溶剤、塗装機器、塗装設備等の販売、提案を行っております。

弊社の本社がある大阪では、2025年に大阪万博が開催されます。開催に向けて準備が万端とは現時点では言い難いですが、着実に進んでおります。特に万博会場へ乗り入れるバスやそのバスのドライバーの確保が大きな課題となっており、ここでも人手不足が叫ばれている状況です。ホテルの部屋の確保も進んでおり、昨年大きく増えた外国人観光客だけでなく、日本人の観光客も大阪を中心とした関西に訪れ、活気にあふれるのではないかと期待しております。

その中でも弊社はしっかりと日々の事業活動を行い、社員一同、滋賀バルブ協同組合の発展にご協力し、よりよい塗料や塗装方法のご提案を心がける所存でございます。

昨年同様にご愛顧を賜わりますよう、お願い申し上げます。

最後になりましたが、滋賀バルブ協同組合と会員、賛助会員の皆様のご多幸とご健勝を心よりご祈念申し上げます。



編集後記

あけましておめでとうございませう。皆様には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、大変お世話になり厚く御礼申し上げます。

ここに、令和7年新春特別号をお届けできること、大変嬉しく有難く御礼申し上げます。

昨年は、能登半島大地震・記録的豪雨による災害・記録的な猛暑と、気象への不安が大きくなりました。

更に、国内経済は、急激な円安・エネルギー・材料・人件費の高騰等による経営環境が圧迫し大変厳しい一年となりました。

本年は、更に変化する社会情勢におきまして、お一人おひとりが英知を結集されステップアップされることを念じております。

当組合事務局は、昭和63年(1988年)4月より機械金属工業指導所(現・東北部工業技術センター彦根庁舎)にて業務行っておりましたが、本年1月15日より彦根商工会議所3階へ移転致します。

組合員・賛助会員並びに各関係団体の皆様方と連携をより一層密にし、彦根バルブ業界発展のため、諸事業を効果的に推進させて頂く所存です。どうか、皆様のご理解ご協力を引き続き賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。(事務局一同)